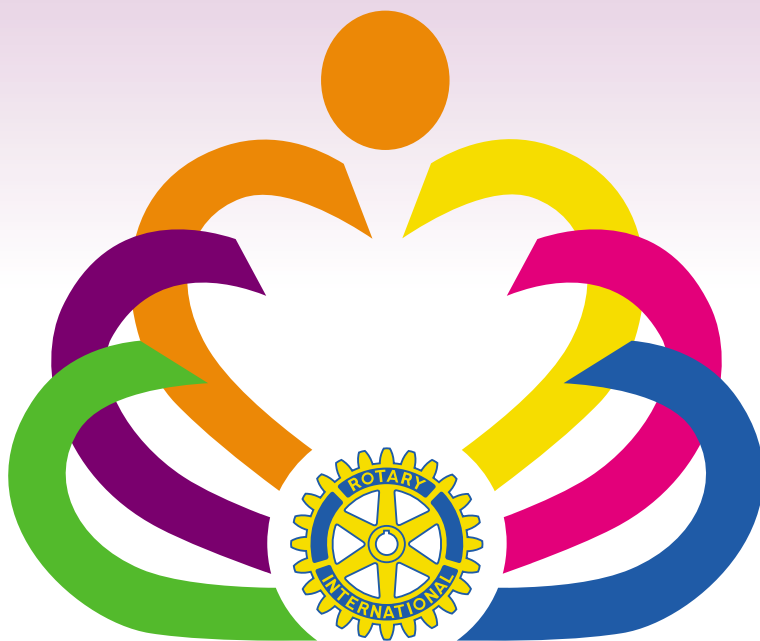


# 松戸ロータリークラブ会報

第2689回 例会

No.2688

2011年8月31日 発行



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために  
Reach Within to Embrace Humanity

2011-12年度 国際ロータリーテーマ

## ■ 本日のプログラム

2011年8月31日(水)

卓話「例会監督について」

田中忠行 会員

## ■ 次回のプログラム

2011年9月7日(水)

卓話「新世代のための月間について」

林 希一 会員

『四つのテスト』 言行はこれに照らしてから

- ① 真実か どうか
- ② みんなに公平か
- ③ 好意と友情を深めるか
- ④ みんなのためになるか どうか

『THE 4-WAY TEST』 Of the things we think, say or do

- ① Is it the TRUTH?
- ② Is it FAIR to all concerned?
- ③ Will it build GOODWILL and BETTER FRIENDSHIPS?
- ④ Will it be BENEFICIAL to all concerned?

●例会日 毎週水曜 12:30~1:30  
●例会場 伊勢丹松戸店本館11Fバンケットルーム  
TEL: 047-364-1111  
●事務所 松戸市松戸1281 ユニティビル2F  
TEL: 047-366-2266  
FAX: 047-361-2255  
U R L : matsudo-rc.com  
E-mail : info@matsudo-rc.com

●会長	常盤 映彦		
●会長レク	加藤 栄		
●副会長	島村 俊充		
●幹事	中澤 雅彦		
●会計	猪股 貴久		
●会報委員	橋口 和幸	中田智次郎	松田 茂一
	小林 登	田原 晨暁	杉浦 章浩
	鈴木 昌広	車田 善教	浅井 利明
	飛田 勤		

●第2790地区ガバナー 山田 修平 (木更津東RC)

THE ROTARY CLUB OF MATSUDO 松戸ロータリークラブ

国際ロータリー第2790地区 創立:昭和31年11月14日 RI承認:昭和31年12月17日

## 「クラブ奉仕について」

### クラブ奉仕委員会

島村俊充 委員長



今年度、クラブ奉仕委員長の島村俊充です。

クラブ奉仕委員長になってから、改めて松戸ロータリークラブ細則を読み直しました。

細則によれば、「クラブ奉仕委員会」は、松戸ロータリークラブ細則第10条第2節に規定されています。

#### 第2節 クラブ奉仕委員会

- (a) クラブ奉仕委員会委員長は、クラブ奉仕の諸活動全部に対して責任をもち、かつクラブ奉仕の各特定分野について設置されたあらゆる委員会の仕事を監督、調整する任務をもつものとする。
- (b) クラブ奉仕委員会は、クラブ奉仕委員会委員長とクラブ奉仕の特定の分野を担当するすべての委員会の委員長によって構成されるものとする。
- (c) 会長は理事会の承認の下にクラブ奉仕の中の特定分野を担当する次の各委員会を設置するものとする。
- ・ 出席委員会
  - ・ 親睦活動委員会
  - ・ 会報・雑誌委員会
  - ・ 会員選考・増強委員会
  - ・ 広報委員会
  - ・ プログラム委員会
  - ・ 資料編集委員会
- 次の委員会に毎年1名ずつの委員を任命するものとする
- ・ 職業分類委員会
  - ・ ロータリー情報委員会
- (d) 会長は、会長エレクトまたは副会長に命じ、職業分類、会員選考、会員増強、ロータリー情報委員会の仕事を監督、調整させるものとする
- (e) クラブ諸委員会の設置について、可能かつ実際的である限り、1名または数名の委員を再任するかまたは1名または数名の委員を2カ年の任期をもって任命させることにより委員会に継続性をもたせる規定をもつべきものとする
- (f) 職業分類委員会およびロータリー情報委員会は、各々3名の委員をもって構成されるものとし、それぞれ毎年1名の委員を3年の任期をもって任命するものとする。
- 本規定に基づく最初の任命は次のごとく行なうものとする。即ち、1名は1年、1名は2

年、1名は3年の任期をもって、それぞれ任命する。

- (g) 会報・雑誌委員会は、可能である限りクラブ会報編集および地元新聞または広告関係の委員を委員の中に含めなければならない。

以上のように規定されていますから、これを守って運営しなければなりません。

(a)(b)(c)は原則としてわかります。

(d)は、当クラブではクラブ奉仕委員長を副会長にするという方法ととっています。

(e)は、委員を数名再任させて委員会の継続性をもたせるということですが、これは毎年考慮されて委員会を構成しています。

(f)は、職業分類委員会とロータリー情報委員会は1名は任期1年、1名は任期2年、1名は任期3年というように任命することになっていますが、そうなっているのかわかりません。

(g)は、会報・雑誌委員会は可能なかぎり地元新聞または広告関係の委員を委員の中に含めなければならないというのは、昨年度、「松本幸夫会員」の場合は当てはまらなかったと思う。

クラブ奉仕委員会には、「特定分野を担当する委員会」として出席委員会、親睦活動委員会、会報雑誌委員会、広報委員会、プログラム委員会、資料編集委員会、クラブ役員指名委員会、職業分類委員会、会員選考・増強委員会、ロータリー情報委員会があります。

クラブ奉仕委員会はこれら「クラブ奉仕関連委員長」の横の連絡を円滑し、あらゆる委員会の仕事を監督、調整する任務を果たすため、全体としての調和を図っていけば良いと思っております。

その中でも、クラブの雰囲気は、親睦活動がうまくいっていけば良くなっていくものと思っています。当クラブは、毎年度の親睦活動委員会が、がんばっていただいているおかげでクラブ内が大変まとまっていると、他のクラブメンバーから言われることがあります。私も親睦活動委員長をしたことがありますが、やることが多く大変です。

親睦活動委員会は、「会員の各種お祝いからインフォーマルミーティング、会員親睦会、会員親睦旅行などの設営」と大事な任務だと思います。そして、夫人の会への協力、松戸ロータリークラブゴルフ同好会（十日会）の活動への協力もあります。

私は、1年前にゴルフをやめたので、ゴルフにつきましては、小川委員長と十日会の皆さんに運営をよろしくお願いいたします。

そして、今年は台湾の天和ロータリークラブメンバーとの交流もあります。11月には、天和クラブがみえて、来年3月には、天和クラブを訪問する予定です。

大変盛りだくさんですが、よろしく申し上げます。

これらを勘案してクラブ奉仕委員会を運営していくつもりです。最終目標は、クラブ運営が正しく円滑に運営されることであると思っております。

さて、さる7月23日、国際ロータリー第2790地区クラブ奉仕セミナーが行なわれました。

当クラブから 第12分区ガバナー補佐 安井会員  
 クラブ奉仕委員長 島村  
 会員選考・増強委員長 待山会員  
 広報委員長 松本会員

が出席しました。

セミナーのディスカッションのテーマは、「どうすれば退会者を減らすことができるか」でした。

さて、「どうすれば退会者を減らすことができるか」というテーマは、松戸ロータリークラブとしては、どうもあまりぴんときませんでした。松戸では、それほど退会者が多いわけではないからです。

しかし、第2790地区では、退会者が多いのが実態です。例えば、千葉ロータリークラブです。

	06-07	07-08	08-09	09-10	10-11	11-12
会員数	67	72	70	64	65	65
拡大	14	9	12	12	11	
退会者	8	11	16	11	11	

このように入れても入れても退会者が多く、純増にあまりなっていないようです。

その他のクラブでも退会者が多く、当地区では、10年前に比べて約1000名会員が減少しています。

研修リーダーの崎山パストガバナーの話では、RIに日本から理事を2名出しているが、それを維持するには、会員数を守らねばならないのだとのことでした。組織として会員数を保たねばならないのが、前面に出ている感じでした。

私個人の考えは、退会は「個人の自由である」と思っています。経済的環境、身体的環境などで、本人が退会を決意したのであれば、それは尊重すべきだと思います。ただ、そういう確たる意思によらずに退会するというのは、問題です。

退会原因は、現在の経済環境や高齢化などが原因と言われていますが、もう一つ、「入会時のロータリークラブへの理解不足」で、入会后、入会

者の描いていたイメージと違い失望するというものがあった。

しかし、入会時に最初からロータリークラブへの理解が充分でないのはむしろ当然でしょう。だから、入会后にいきなりロータリークラブを好きになるかにかかっています。ロータリークラブが取りうる方法論としては、「入会後のフォローが大事」などと言われているが、最終的には入会者本人の問題である。受け入れるクラブだけの問題ではない。

入会後にロータリークラブに失望して退会しているとなると、受け入れるクラブに魅力がないという恥ずかしいことになります。迎えるクラブの会員の質を問われているのかもしれない。そうであれば、会員の質を高めることが大事でしょう。「退会をするのが恥ずかしい、不名誉なことだ」と思われるようではいけないと思います。会員のレベルが高いクラブであれば、退会者を多く出すことはないのではないのでしょうか。簡単にやめられるような実情を自戒するべきだと思います。



## 例会報告



第2688回例会 2011年8月24日

### 会長挨拶



常盤映彦 会長

こんにちは  
 また夏の暑さが戻ってまいりました。今回は休会でしたので、夏休みをとりどこかにお出かけなされたでしょうか。我が家では、お盆に門口で13日迎え火、16日に送り火を焚

きます。

古くは、正月とお盆に、祖霊、御先祖がお帰り

になるとして、お祭りをするものであったようですが、いまは、正月は神事、盆は仏事、と別れてしまっております。もともとは正月も、年神様とともに祖霊を祀っていたものであります。

わが国では、神々も遠い祖先へと繋がるものと感じており、正月は一緒に迎えていたものが、正月は神様、お盆は祖霊となっていたものと言われております。

家に招くというのは、多分先祖がいつも近くにいるわが国の習わし国ぶりであって、前にバリ島のお盆の話をしたが、タイなどでもお寺にお供え物を持っていく、仏教では、亡くなると極楽浄土に行くのですから、煩惱の多いこの世にお招きするのは、ほかの国ではとんでもないことなのかもしれません。

慰霊といえば、終戦記念日に靖国神社にお参り

してまいりました。

今年は震災のこともあってか、例年になく大勢の参拝者で賑っており、若い人や外国人のかたも大勢参拝されていました。

震災に際し、住民を避難させるために身をささげた方が大勢おられました。その方々に対して、尊敬と哀悼の意を奉げていく事は当然ですが、祖国のために戦って命を落とした人々にも、同様に行っていただきたいと思えます。

又、地区の国際奉仕セミナーに行っていました。青少年交換が、五大奉仕部門となって新世代奉仕の分野となり、WSCも休止となつて、国際奉仕はシンボルとなる事業がないようになってしまった感がありますが、国際奉仕は世界平和に大きな力になると思っていますので、11月、3月の天和ロータリークラブとの交流相互訪問を実現させたいと存じますので、会員の御協力をお願いいたします。

## 御 報 告



伊原清良 会員

松戸市立松戸高校、正木校長様より、おかげ様で本校合唱部、関東大会に出場することになりました。吹奏楽は上の大会には出場できませんが金賞をとることができました。いろいろありがとうございました。

## 幹 事 報 告



中澤雅彦 幹事

1. クラブ内、会議・連絡事項等の案内  
特にありません。
2. 外部からの会議・連絡事項等の案内  
「第12回ロータリアン芸術祭作品出展のお願い」が届いております。

出展いただける作品(絵画、書、写真、彫刻、生け花、陶芸等)

出展/11月6日(日) 地区大会かずさアカデミアパーク、申込締切/9月30日(金)

昨日(8/23)、松戸神社社務所にて12分区第1回会長幹事会議が開催されました。

国際ロータリー日本事務局より、9月のロータリーレートが届きました。

2011年9月 1ドル=78円。

2010-2011年度国際ロータリー第2790地区広報・IT委員会より東日本大震災に関する報告「復興への点鐘」が届きました。

3. 他クラブ会報・その他  
特にありません。

## 4 例会変更の連絡

・柏RC

9月21日(水)の例会は夜間例会に変更

点鐘 18:30

場所 三井ガーデンホテル柏 2F

・松戸西RC

9月14日(水)の例会は9月10日(土)の夜間移動例会に変更

点鐘 18:00

場所 スリランカレストラン

「コートロッジ」(新宿)

## 5 その他

特にありません。

## 例 会 報 告



澤田会員



お客様 渡辺様(松戸東RC)

## [出席報告]

会員52名

出席36名

欠付16名

義務会員43名

義務会員31名

義務会員12名

免除会員 9名

免除会員 5名

免除会員 4名

## [欠席者]

小倉 純夫君

小川 一君

太田原慎一君

土肥伸一郎君

島村 善行君

松葉 則明君

平松 徹君

飛田 勤君

大川 吉美君

川並 芳純君

山田 達郎君

猪股 貴久君

## [M U]

安井 克一君

安井 克一君

浅井 利明君

浅井 利明君

加藤 栄君

ガバナー補佐会議

地区国際奉仕セミナー

インターアクト会議

インターアクト会議

松戸西RC

8月19日

8月20日

8月19日

8月23日

8月24日

本日出席率

72.92%

先々週出席率修正

83.33%

83.67%

## [お客様]

渡辺 剛様

松戸東RC

## ニコニコBOX

ニコニコBOX 当日¥ 0 累計¥ 233,000

財 団BOX 当日¥ 3,470 累計¥ 27,675

文責 / 橋口